

四国森林管理局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成29年1月23日)

開催日及び場所		平成28年12月20日(火曜日) 四国森林管理局 1階会議室		
委員		坂本伸廣 (税理士) 西森やよい (弁護士) 斉藤章 (公認会計士)		
審議対象期間		平成28年 7月 1日～平成28年 9月30日		
審議対象案件		80件 うち、1者応札案件 33件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件		20件(抽出率25%) うち、1者応札案件 6件 (抽出率18%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争		5件 うち、1者応札案件 2件
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約		該当なし
	業務	一般競争		3件 うち、1者応札案件 0件
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
			その他の随意契約	該当なし
	物品・役務等	一般競争		10件 うち、1者応札案件 4件
		指名競争		該当なし
		随意契約(企画競争・公募)		1件
		随意契約(その他)		1件
	(特記事項) なし			

	意見・質問	回答等
委員 ら の 意 見 ・ 質 問  そ れ に 対 す る 回 答 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造林事業の入札結果を見ると1者応札が非常に多いが、応札者を募るために何か取組を行っているか。</li> <li>・ 素材生産事業（抽出番号19）の入札でA等級の事業にC等級の者が応札できるのはなぜか。</li> <li>・ シカ被害対策緊急捕獲等事業の入札結果を見ると応札者が1者となっているが、これは競争性のある事業なのか。競争が発生しないものに関しては随意契約にすべきかと考えるが。</li> <li>・ 健康診断の入札で応札者が前年度より増加しているが、何か取組を行ったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数の作業種を組み合わせることで1つの作業を大きくしたり、素材生産事業と一緒に発注し、より多くの者が入札に参加できるように取り組んでいる。</li> <li>・ 通常は労確法の認定を受けることで、直近上下位に対応する事業に応札できることとしているが、この事業は民間競争入札により3ヶ年で事業を行う契約となっており、より多くの者に入札に参加していただけるよう、競争参加資格をA～C等級に格付けされている者とした。</li> <li>・ 競争参加資格を有する者がいる場合は、一般競争入札を行うこととしているため、応札者が少ないというだけでは随意契約とする理由にはならない。</li> <li>・ 検診事項のうち一部を、外部下請けを可能とした仕様に改めて公告をしたところ、応札者が前年度より増加した。</li> </ul>
	委員会による意見の具申又は勧告の内容  [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし